

東日本大震災の応急給水活動を終えて



岩倉市では、日本水道協会愛知県支部からの応援派遣依頼を受け、3月19日から応急給水の支援に向かいました。全国でも361事業体が支援の名乗りを上げています。

岩倉市が向かったのは、宮城県石巻市の蛇田浄水場^{へびた}でした。現地に到着するまで14時間以上かかる長い道のりでしたが、現地の惨状は、東日本大震災の発生により甚大な被害が起き、ライフラインも寸断され、復旧の見通しが立っていない状況で、テレビで放映されている以上であり、身が震える思いがしました。

応急給水活動を3日間実施しましたが、現地での広報活動による周知が行き届いたこともあり、日増しに給水を求める人が多くなりました。また現地ではどこから来たか尋ねられ、愛知県から来ましたと話すと、「遠い所からよく来てくれた。」と感謝されました。

岩倉市の給水活動は、現地で給水車によるピストン輸送であり、被災者の人に大いに喜んでいただき、貢献できたと思います。

また、地震、災害はいつ、どこで起こるか分かりません。そうした有事に備えて迅速な対応がいかに重要であるか、改めて認識をしました。

最後に、被災された多くの人には一刻も早く立ち直っていただき、一日も早い復興を願っています。



○岩倉市応急給水応援活動

第1班	平成23年3月19日～23日	職員4人
第2班	3月22日～26日	職員3人
第3班	3月25日～29日	職員3人
第4班	3月28日～4月1日	職員4人

東日本大震災災害義援金と 市内の小・中学校から集まった義援金 (3月28日まで)

合計 4,813,647円

乾パン、粉ミルク等の支援物資 (3月28日まで)

合計 段ボール 73箱

